



編集・発行
各務原市社会福祉協議会
那加一支部
支部だより編集委員会

年 度	全人口	年少者人口%	生産年齢人口%	4月1日現在四番目の高い率%	老年者人口%
平成元年度	9,428	1,833(19.4%)	6,627(70.3%)	968(10.3%)	
平成2年度	9,442	1,747(18.5%)	6,678(70.7%)	1,017(10.8%)	
平成3年度	9,548	1,687(17.7%)	6,785(71.0%)	1,076(11.3%)	
平成4年度	9,658	1,679(17.4%)	6,855(71.0%)	1,124(11.6%)	
平成5年度	9,820	1,664(16.9%)	6,980(71.1%)	1,176(12.0%)	
平成6年度	9,913	1,638(16.5%)	7,030(70.9%)	1,245(24.6%)	
平成7年度	10,049	1,598(15.9%)	7,157(71.2%)	1,294(12.9%)	
増 増	+671(6.0%)	-235(-12.8%)	+530(+8%)	+326(+33.7%)	

備考 増減は平成元年に對し、平成7年の増減数、()内の%は、平成元年に對し平成7年の増減の百分率

高齢化の現状について

各務原市社会福祉協議会
那加一支部長

前田常夫

総務庁の発表によりますと、「敬老の日」の十五日現在で、わが国の六十五歳以上の高齢者の推計は、昨年より六十万人増の千八百二十一万人で、過去最高となりました。総人口に占める割合も、〇・四%増えて十四・五%と、これまで最も高い割合となりました。やがて二年後には、老人人口が年少人口を上回る老若逆転現象がおききます。

岐阜県の高齢化率は十五・一%です。各務原市は昭和四十年代後半より団地の造成が多くされたため、国より低く十一・〇%で、高齢化は国より約十年おくれているといわれています。

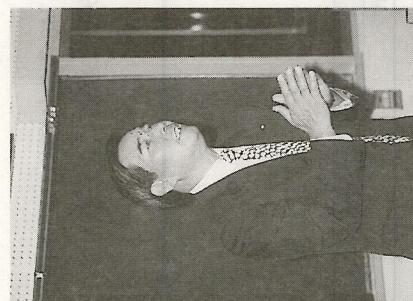
私たちの住んでいます那加一小校下は、古くからの部落が多く、一部団地も造成され、全人口一万四十九人に対し高齢者は千二百九十四人で十二・九%です。市平均より約二%高く、市内十六小学校市下別では、稻羽西・東・那加三について

那加一小校下の各町内を眺めてみると、古くからの部落、桐野・西市場等高齢化の著しく進んだ町内と、サニーハイツ、金属団地、雇用促進・那加の台等あまり進んでいない町内とでは、高齢化の現象において非常に大きな差が生じています。

那加一小校下の、平成元年から平成七年までの、年度毎の変化と、六年間の変化をまとめたのが左表です。表を分析してみると、六年間で全人口は百三十六人(一・四%)増えています。

年少人口は三百三十五人減つて、全人口に占める割合は十九・四%から十五・九%と、三・五%減っています。生産年齢人口は五百三十人増です。老人人口は実際に実人員で三百二十六人(三十四%)の増です。全人口に占める割合も十・三%より十二・九%と二・六%増加しています。

これ等の数字によりましても、現在の少子化傾向、高齢者人口の増加がお分かりいただけると思います。那加一小校下では現在ねたきり老人二十一人、独居老人四十四人、九十歳以上の高齢者十七人おられます。これからもまた著しく増加します。今年もまた皆さんとの理解とご協力により福祉活動の充実と発展に努力したいと思っています。宜しくお願いします。



▲市健康福祉部長 牧田正明

高齢者と福祉

各務原市健康福祉部長

牧田正明

総務庁の発表によりますと、「敬老の日」の十五日現在で、わが国の六十五歳以上の高齢者の推計は、昨年より六十万人増の千八百二十一万人で、過去最高となりました。総人口に占める割合も、〇・四%増えて十四・五%と、これまで最も高い割合となりました。やがて二年後には、老人人口が年少人口を上回る老若逆転現象がおききます。

那加一小校下の、平成元年から平成七年までの、年度毎の変化と、六年間の変化をまとめたのが左表です。表を分析してみると、六年間で全人口は百三十六人(一・四%)増えています。

年少人口は三百三十五人減つて、全人口に占める割合は十九・四%から十五・九%と、三・五%減っています。生産年齢人口は五百三十人増です。老人人口は実際に実人員で三百二十六人(三十四%)の増です。全人口に占める割合も十・三%より十二・九%と二・六%増加しています。

これ等の数字によりましても、現在の少子化傾向、高齢者人口の増加がお分かりいただけると思います。那加一小校下では現在ねたきり老人二十一人、独居老人四十四人、九十歳以上の高齢者十七人おられます。これからもまた著しく増加します。今年もまた皆さんとの理解とご協力により福祉活動の充実と発展に努力したいと思っています。宜しくお願いします。



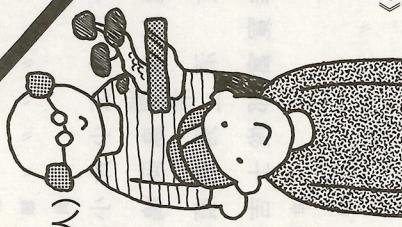
▲真剣に話に聞き入る参加者

数字で見る 那加

●ねたきり老人 (65歳以上)
各務原市 296人 (老人人口の 2.0%)

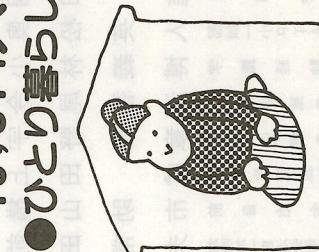
21人

●世帯数
各務原市 40,957世帯
3,234世帯
●一世帯人員
各務原市 3.05人
3.14人



●人口
各務原市 134,387人
10,314人 (男15,089人・女15,225人)

●ひとり暮らし老人
各務原市 664人
(老人人口の 4.4%)
44人 (老人人口の 3.3%)

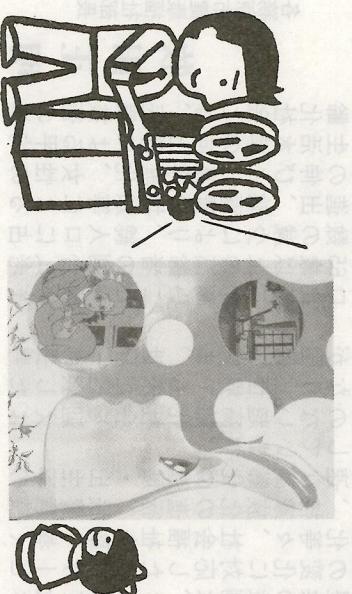


《平成7年10月1日現在》

社務那川一支部上半期事業報告書

月 日	活 動 内 容	月 日	活 動 内 容
4月26日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回理事会 平成7年度年間活動計画案・予算案・役員案の作成 ○ 理事・評議員出席 第一回支部総会 		
5月9日	<ul style="list-style-type: none"> 平成7年度年間活動計画・予算の決定、役員の承認 ○ 日本赤十字社社資募金 	8月10日	<ul style="list-style-type: none"> 那加一小の「愛と光の天使」を鑑賞しました。 ○ 福祉作文、標語、ポスターの審査
5月上旬	<ul style="list-style-type: none"> 那加一小校下全体で、1,219,500円の高額になり、有難うございました。 	8月20日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 那加一小 福祉作文、標語・ポスターの表彰式
6月7日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2回理事会 福祉作文・標語・ポスターの募集 福祉映画会について 	9月15日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第8回福祉講演会 会場の那加西福祉センターに、那加一小、那加中の優秀ボスター、並びに支部活動のパネルを提示しました。
7月6日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護講習会 ねたきり老人介護者近隣ケア・福祉に関心のある方など45名参加しました。保健婦、在宅支援センター職員、社協職員など講師に招いて、9時30分より11時30分まで、話を聞いたり、実習を行いました。 		<p>講師 市健康福祉部長 牧田正明氏「各務原市の高齢者と福祉」</p> <p>那加一支部長 前田常夫氏 「福祉の諸問題」</p> <p>60名余り参加し、身近な内容で好評でした。</p>
8月8日	<ul style="list-style-type: none"> ○ 車椅子体験學習会 那加一小4年生の児童を対象に、運動場で実施しました。 	9月20日	<ul style="list-style-type: none"> ○ひとり暮らし老人を囲む会委員会 那加西福祉センターに、社協役員、民生児童委員、女性会議、那加一小、保育所の代表者が集って、囲む会の持ち方、進め方、食事などについて協議しました。
			<p>○ 健康教室</p> <p>那加西福祉センターにて、40名余り参加して実施しました。糠塚先生の巧みなご指導により笑いの中に楽しく終了しました。</p>

平成7年度 杜協那加支部 収支予算書



平成7年度 各務原社会福祉協議会 那加一支部 役員紹介

区分	予算額	備考
1 支部交付金	500,000	市社協からの交付(40%)
2 支部会推進事業費	100,000	市社協より指定
3 ×三会成金	180,000	支部など140,000、ひとり暮らし老人会等20,000、高齢者健康づくり教室20,000
4 その他金	30,000	歳末福祉懇親会
5 繰越金	456,321	前年度からの繰越金
6 総収入	1,000	預金利息
計	1,267,321	

支出の部

区分	予算額	備考
1 事務費	30,000	コピー代、通信費、ファイル代等
2 共通実施事業	250,000	
1) 福祉教育事業費	80,000	小・中学生福祉作文・標語・ポスターの募集50,000。福祉講演会30,000。
2) 友愛訪問事業費	110,000	寝たきり老人・高齢者訪問。寝たきり老人給食
3) 支部育成事業	60,000	理事会、総会等の開催
3 メニユー事業	250,000	
1) 老人を囲む会	60,000	1回開催
2) 娘子会	15,000	8月8日、小学校体育館で実施。200名位参加予定
3) 福祉座談会		
4) 支部だより	140,000	2回発行（11月1日15号、3月15日16号）
5) 高齢者教室	35,000	2回開催（9月・2月）
4 歳末特別事業費	60,000	地域福祉座談会（11月24日）
5 その他の事業費	260,000	
1) 啓発事業費	60,000	福祉紹介
2) ふれあい事業等	170,000	市民運動会、老人クロッケゴルフ大会、青少年育成
3) その他の	30,000	介護講習会
6 予備費	417,321	
計	1,267,321	

平成7年度 各務原社会福祉協議会 那加一支部 役員紹介

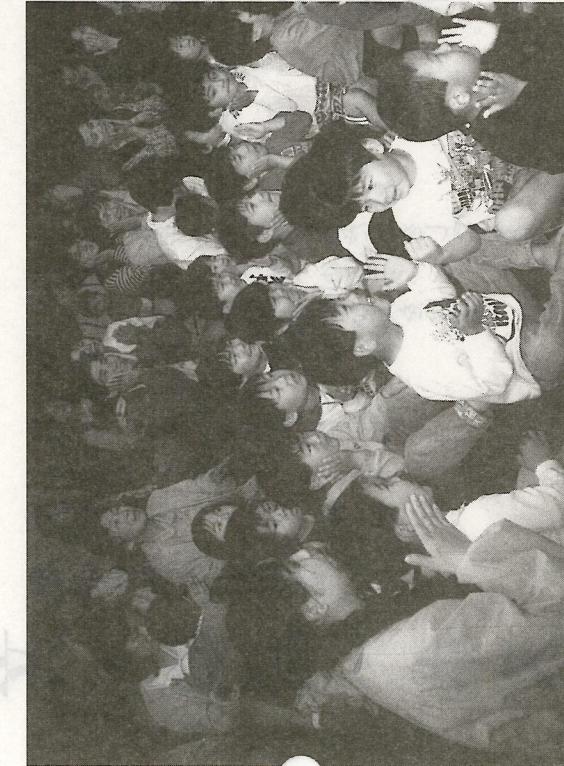
笑顔のステキなおばあちゃんたち おじやまむしコンサートに参加

4/24

今年度ふれあい保育所としてスタートし初めての試みとして、近所のお年寄りをコンサートにご招待したところ大勢の方に参加していただきました。

笑いではじまり笑いの中でわわった「おじやまむしコンサート」でした。パネルシアターでは、ハラハラドキドキの連続で身も心もすっかりおはなしの世界に入りこんでしまったおばあちゃん達ひとときでした。

軽快なテンポの手あそびでは、子ども達のようになんとか手を動かそうと笑いながらも真剣に指先を見つめる姿はとても印象的でした。子ども達といっしょに童心にかえれた楽しくなっこやかなひとときでした。



▲子ども達といっしょに楽しいひとときを過ごす

平成7年度社協会費についてのお知らせ

那加一校下住民の皆さま方の福社に対する温かいご理解とご協力により、今年も特別会員が80人増加、会費総額においても、55,500円増加し、たいへん有難く思っています。社協那加一支部の活動や事業も活発にでき、心より感謝申し上げます。

平成7年度社協会員募集実績表

自治会名	一般会員数	一般会費額	特別会員数	特別会費額	会員数合計	会費額合計
新加納町第1	51	25,500	12	12,000	63	37,500
新加納町第2	42	21,000	14	14,000	56	35,000
新加納町第3	91	45,500	6	6,000	97	51,500
新加納町第4	51	25,500	4	4,000	55	29,500
新加納町第5	78	39,000	8	8,000	86	47,000
日吉町	91	45,500	25	25,000	116	70,500
浜見町1	82	41,000	15	15,000	97	56,000
浜見町2	74	37,000	9	9,000	83	46,000
新田町	225	112,500	23	23,000	248	135,500
那加の台	63	31,500	5	5,000	68	36,500
長塚町	127	63,500	15	20,000	142	83,500
山後町	126	63,000	13	13,000	139	76,000
岩地町	111	55,500	16	16,000	127	71,500
桐野町	154	77,000	17	18,000	171	95,000
西市場町	163	81,500	21	21,000	184	102,500
前野町	158	79,000	45	45,000	203	124,000
野畠町	64	32,000	9	11,000	73	43,000
雇用促進住宅	67	33,500	8	8,000	75	41,500
金属団地共同宿舎	69	34,500	9	9,000	78	43,500
が丘	200	100,000	31	31,000	231	131,000
サニーハイツ	21	10,500	0	0	21	10,500
合計	2,108	1,054,000	305	313,000	2,413	1,367,000

車いす体験学習から

八月八日、那加一小学校四年生児童を対象に、車いす体験学習会を開きました。この学習会に参った児童の感想文を紹介します。

車いす体けん学習

四年二組 広瀬 亜衣

私が、今日、車いす体けん学習をやつて思つたことは、車いすを動かしている人は、とてもつかれるとゆうことです。まずははじめに、だんをあがりました。どつても重かったので、先生にてつたつもらいました。それでもう一つつかれたことは、きかをおりるときです。きかのまん中のへんで、自分のちがつているところに、一つきがつきました。はんたいをむかなかつたことです。なのではんたいをむかつたので、教えてもらつてやりました。

自分がのるとき、どつてもこわかつたので、ふだん車いすにのつている人のつらさがわかりました。

平成7年度那加中学校福祉作文・ポスター表彰者

■ 福祉標語表彰者

最優秀 一年 赤座輝美

ゆくすえはみんな老人 大切に

優秀 一年 服部幸三

待つてますあなたの気持ちやさしい手

優秀 一年 岩佐敦子

あたたかい心はたくさん使おうよ

入選 一年 村瀬文香

お年寄り地域ぐるみで大切に

入選 一年 村井美奈

白いつえ持つ手にそえる思いやり

入選 一年 今尾真大

これからは僕らが守る老人を



▲最優秀 小椋めぐみさんの作品

■ 福祉ポスター表彰者

最優秀 一年 小椋めぐみ

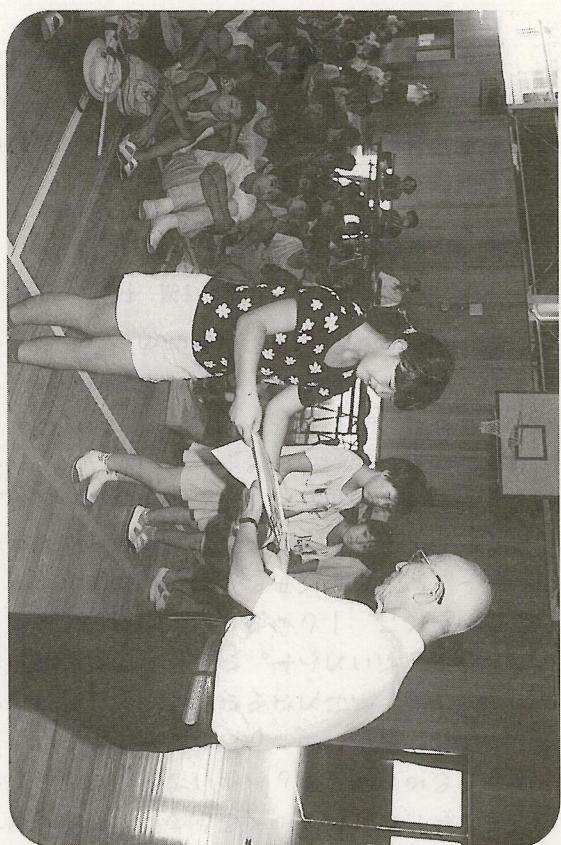
優秀 一年 服部幸三

入選 一年 简井里美

優秀 一年 小林由美

入選 一年 坪内瞳也

優秀 一年 简井里美



▲前田支部長から賞状と記念品を受けたる児童

「お母さんがおいであります。でも、もう
お年寄りえがおでありますからにちわ
といつよ。やつてみたら。」

うかねど思いました。そこで、わたしは、やつてみ
た。お母さんは
じやないかな。」

車いすに乗つてみたり、手話をおぼえたりする
と、言いました。お母さんは、
聞くと、お母さんは、
例えば、どんなことをするの。」

ふへしてどんなんのかが、体けんできるもの
と聞きました。お母さんは、
これつて何。」

に入りました。わたしは、お母さんに、
ほの『ふへしの体けん入學』といつみたしが目
に見えます。それは、『各務原市』の広
い理由からです。わたしが、ふへして、関心を持ったのは、
少しこれつて、何。」

那加第一小四年 片岡 美治

ふくしの体けん

■福祉作文の紹介

私が不自由な人

入選五年 相磯 ちぐさ

入選三年 西沢 知樹

入選二年 小木曾 ゆう子

優秀六年 浅野 友里

優秀六年 金野 聖子

最優秀四年 片岡 美治

●福祉作文表彰者

那加一小福祉作文・標語・ポスターの表彰式

伝わるよう努力して下ひい、と語されました。
い気持ちを具體的な行動に表わし、善意が相手に
どんどん増えてきます。これからも皆さんの暖か
いことを嬉しく思っています。今後もお年寄りはど
たりなど大事にして、喜ばれた児童が増えてきた
お年寄りや障害者に、手をかし、はげまし、助け
支部長は挨拶の中で、皆さんの作文を読みで、
り表彰状並びに賞品を渡されました。

平成七年八月二十一日、那加第一小学校子ども
フェスティバル開会式の席上、一学期に那加第一
小学校の児童に書いてもらつた、福祉作文・標語・
ポスターの中より、優秀者十八名に前田支部長より
表彰状並びに賞品を渡されました。



田口智絵さんの作品

■福祉ポスターの紹介

最優秀

参加したいと思っています。

だから、今度そういう生き方があったら、ぜひ、
ないなあと思いませんでした。

けるためにもふくしの体けんをやらなければいけ
ませんよい手だすけがでるようになります。たすけ
側もやりすぎのないようになります。たすけてあげる
気持ちが分かるんだと思いません。たすけてあげる
ればり同じ立場に、少しでもなつてみて、その人の中で、
て思いました。たけど、わたしは何をやつてあげ

ればいいのかなあと思つていてるうちに電車が着い

て思いました。あの男の人のどんなんこやつるか。やつ

てしましました。お母さんがあいさつこんにちわ

と、言つてほんせいでくれました。でも、もう

お年寄りえがおでありますからにちわ

といつよ。やつてみたら。お母さんによつてみ

た。お母さんは

うかねど思いました。そこで、わたしは、やつてみ

るよ。やつてみたら。お母さんによつてみ

た。お母さんは

うかねど思いました。そこで、わたしは、やつてみ

るよ。やつてみたら。お母さんは

うかねど思いました。そこで、わたしは、やつてみ

る